

	2018年 9月10日 第792号	JR東海労新幹線関西地方本部 <a href="http://www.geocities.jp/jrcu_kansai/">http://www.geocities.jp/jrcu_kansai/</a> 発行責任者 畑野 浩孝 編集責任者 島津 力
---	-------------------------	---

# 台風(21号)が発生!! 会社(職場)の対応がここまで違う!

「とにかく出勤して来い!」「帰宅のことなど知らない!」

## 非常識な対応をしたJR東海の烏飼車両所職場

《終了点呼時・管理者の発言》

- ・通勤バスは所定で動きます。
- ・JRは動いていません。
- ・私鉄は確認して下さい。

※それだけしか言わずに点呼を終了

※点呼終了直後に管理者(A)と社員(B)のやりとり

- ・B: 帰れない人はどうするんですか?
- ・A: 帰れない人は言ってきて下さい。
- ・B: それを点呼で言わないといけないんじゃないですか?

## 常識的な対応をした関西サービックの新大阪第一職場

《終了点呼時・管理者の発言》

- ・異経路で帰る人は後日報告して下さい。
- ・それでも帰れない人は、タクシーで帰って領収書を持って来て下さい。
- ・タクシー代が2万、3万もかかるようでしたら、近くのホテルを取っていただいて、その領収書を持って来て下さい。
- ・持ち合わせの無い人は相談にのります。

## 皆さん、どう思われますか?

明らかに関西サービックの方が常識的な対応だと思いませんか?

会社は社員の「通勤」に責任を持たなくてはなりません。

「通勤」とは自宅を出て職場に出勤し、勤務終了後、職場を出て自宅に帰宅するまでのことを言うのです。

通常時は当然のこと、非常時においては尚更です。

社員に「自助努力」「自己責任」を押し付けることなどもっての外です。